人間の行動

K19093　福本光重

条件付けとは、私たちの無意識下で生じる「学習」のことである。古典的条件付けとは、生理的反応の条件付けであり、オペラント条件付けとは自発反応の条件付けである。

* 古典的条件づけ

無条件反応：誰もが生まれながらに身に付けている反応

無条件刺激：一定の無条件反応を、いつでも同じように生じさせる刺激

中性刺激：何の反応も生じさせない（関連のない）刺激

条件刺激：条件付けが完成すると、条件刺激となる

条件反応：条件刺激に対して生じる反応

1. 無条件刺激のみを与える→無条件反応が生じる
2. 無条件刺激＋中性刺激を与える→無条件反応が生じる。何度か繰り返す
3. 中性刺激（条件刺激）のみを与える→無条件反応（条件反応）が生じる

最終的に、中性刺激が無条件反応を誘発するようになれば、古典的条件付けは完成となる

身の回りの体験：炒め物の料理をしているときに、油が跳ねて身を引いてしまった体験

無条件刺激：油が跳ねて体に付着する

無条件反応：思わず手を引いてしまうこと（体が反応する）

中性刺激：炒め物を料理しているときの音

条件刺激：炒めものをしていて、水分の多いものを入れた時にする大きい音（ジュワ～）

条件反応：音がした瞬間に、反射的に身を引いてしまう。

* オペラント条件付け

強化：オペラント行動が自発された時に、「強化子」を与えること

強化子：オペラント行動が自発された時に与えられる「報酬や罰」

身の回りの体験：飼い犬に、お手を覚えさせるためにエサを使って覚えさせた。

強化：お手（オペラント行動）

強化子：エサ（おやつ）